

紙のポートフォリオを生成AIで作ってみる

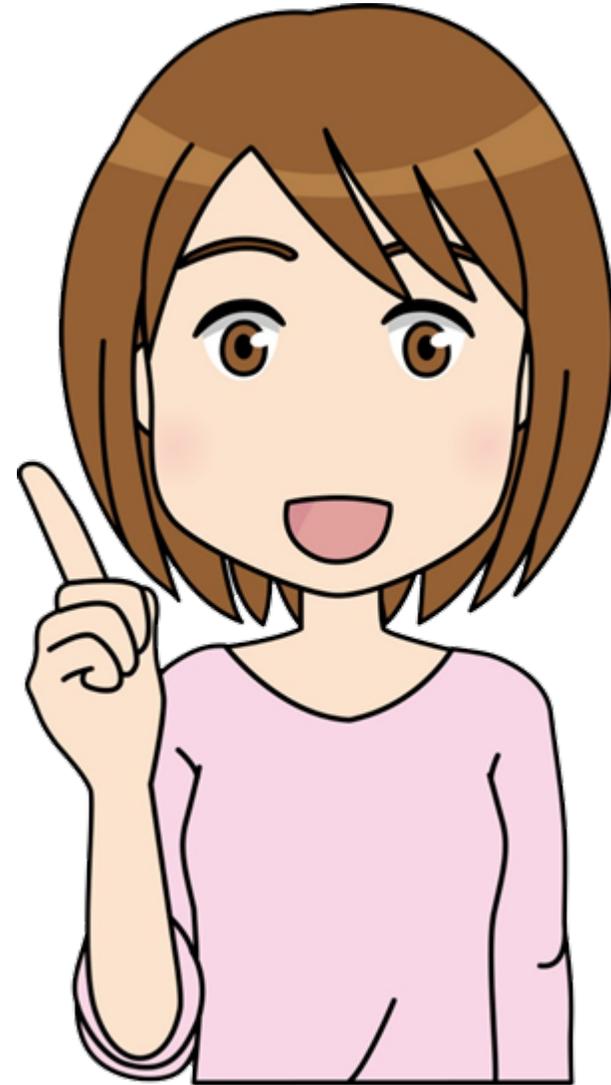
紙のポートフォリオを 生成AIで作成してみましよう！

面接時に持参する紙のポートフォリオを生成AIで出来たら・・・

ということで、

6ページ程度の紙のポートフォリオを生成AIを活用して作成する方法を簡潔に説明します。

ここでは、デザイン系のポートフォリオを想定して解説しますが、他の分野でも応用可能です。



1. ポートフォリオの構成を考える (AI補助可):

まず、ポートフォリオ全体の構成を考えます。

6ページという限られたページ数なので、掲載する作品を厳選し、効果的に見せる構成が重要です。

表紙 (1ページ):

氏名、連絡先、ポートフォリオのタイトルなどを記載。

自己紹介 (1ページ):

略歴、スキル、得意分野、ポートフォリオで伝えたいことなどを簡潔に記述。

ChatGPTなどのAIを使って自己紹介文の作成を補助できます。

キーワードやアピールポイントを伝えれば、ある程度の文章を生成してくれます。

作品紹介 (3ページ):

代表的な作品を3~4点程度掲載。

各作品につき、作品概要、制作過程、使用ツール、工夫した点などを記述。

AIを使って作品説明文の作成を補助できます。

作品のテーマや特徴を伝えれば、キャプションや説明文の草案を生成してくれます。

裏表紙 (1ページ): 連絡先、ウェブサイトやSNSのURLなどを記載。

2. 作品の準備:

掲載する作品を選定し、高解像度の画像データを用意します。

必要に応じて、Photoshopなどで画像編集やレタッチを行います。

3. レイアウト作成 (AI補助可):

Canva、Adobe InDesignなどのデザインツールを使って、ポートフォリオのレイアウトを作成します。

Canva: 初心者でも使いやすいオンラインデザインツール。

豊富なテンプレートを利用できます。AI機能も搭載されており、デザインの提案を受けることができます。

Adobe InDesign: プロ向けのDTP(デスクトップパブリッシング)ソフトウェア。高度なレイアウトや文字組みが可能です。

AIツールを活用して、レイアウトのアイデア出しや素材の作成が可能です。

例えば、デザインのインスピレーション: Pinterestなどで好みのデザインを集め、AI画像生成ツールにそのイメージを伝えることで、レイアウトのヒントとなる画像を生成できます。

背景素材の作成: AI画像生成ツールを使って、ポートフォリオの背景に使うテクスチャやパターンなどを生成できます。

※Illustrator(有料)をお持ちの方はもちろん使ってみてください。

4. テキスト作成 (AI活用):

自己紹介文や作品説明文は、ChatGPTなどのAIツールを活用することで効率的に作成できます。

自己紹介: 自分の強みや経験、ポートフォリオで伝えたいことを箇条書きでAIに伝えれば、自然な文章にまとめてくれます。

作品説明: 作品のコンセプトや制作過程、使用ツールなどをAIに伝えれば、分かりやすく説明文を生成してくれます。

5. PDF出力:

作成したレイアウトをPDF形式で出力します。印刷に適した高解像度で出力しましょう。

6. 印刷:

プリンターで印刷するか、印刷業者に依頼します。紙質にこだわることで、ポートフォリオの見栄えが向上します。

まとめ

計画的にAI活用ポイントを見極めましょう！

文章作成の効率化: 自己紹介文や作品説明文の作成にAIを活用することで、大幅に時間を短縮できます。

デザインのインスピレーション: AI画像生成ツールを活用することで、レイアウトや素材のアイデア出しに役立ちます。

デザインの自動生成 (限定的): Canvaなどのツールでは、AIがデザインを提案してくれる機能もありますが、完全に自動で高品質なポートフォリオを作成するのはまだ難しいです。あくまで補助的な役割として活用しましょう。

【注意点】

AIが生成した文章や画像は、そのまま使用するのではなく、必ず人間が確認し、修正や加筆を行うようにしましょう。著作権や利用規約に注意し、問題がない範囲でAIツールを活用しましょう。これらのステップを踏むことで、生成AIを活用しながら、効率的に質の高い紙のポートフォリオを作成できます。

